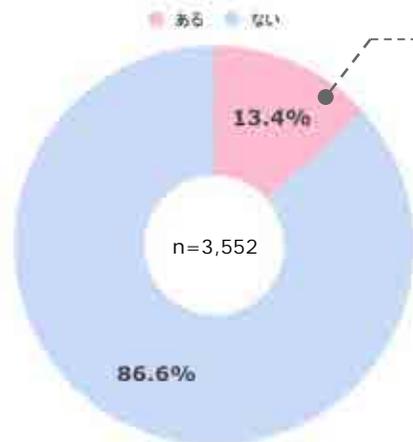


新型コロナウイルス関連の”差別”について

学校現場で新型コロナに関する差別を見たことがある人は14%いる。子ども同士の問題だけではなく、保護者や地域住民も見据えた差別抑止施策をしていく必要があると言えそう。

差別や誹謗中傷を学校現場で見たり聞いたりしたことはあるか？



※2020年8月27日実施「日本学校保健会・学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアルオンライン研修会」参加者アンケートより ※回答者・全国・小中高の養護教諭3,552人

咳、発熱、欠席者に対して「コロナだ!」という

- * 咳をしている児童に対して、コロナだ!と騒ぐ児童がいた | 小学校
- * 発熱生徒に対して「コロナだ〜。」と言う | 中学校
- * 欠席者に対して「コロナちゃうん？」と軽く言ってしまった児童がいた | 小学校
- * 欠席が続いている生徒に対して、コロナ感染者じゃないかなど、噂している生徒がいる | 中学校・養護教諭
- * 少しでも体調が悪い人にコロナと言ったりする | 高校

新型コロナウイルスがいじめの象徴のように使われており、言い出しにくい空気を生み出している

- * 校区で患者が出たとき、誰が患者か、その人に近づかないようになど噂がたった | 小学校・養護教諭
- * 咳をするとコロナって思われたら嫌…と話していた | 小学校
- * ふざけて、コロナ!と友達のことをあだ名のように呼んでいるのを見て保健指導した | 小学校

保護者の言動が差別や偏見を助長している

- * 陽性になった保護者を探し出すような、他の保護者がいた。(犯人探しのようなだった) | 看護師
- * 東京から転園してきた園児が登園するなら、うちの子は登園させないという保護者がいた | 幼稚園

地域社会や近隣住民からの差別や偏見

- * COVID19に感染した学校に通う生徒への暴言および施設利用拒否 | 教育委員会・副校長
- * 医療機関に勤務している保護者が、保育園を断られた | 小学校・養護教諭
- * 感染者の多い地域への往來のあった人に対する差別 | 小学校・養護教諭
- * 地域内で一人目のり患者が出たときに、ご本人やその家族に対してまで誹謗中傷がひどく出回った | 小学校

PCR検査を受ける＝新型コロナ感染者と蔑視する

- * 陽性者でも、濃厚接触者でもない生徒複数がPCR検査を受けたことが報道され、クラスも部活も違う生徒がネット上で中傷をうけた。生徒が登下校中、学校の近くに住む方にあっちに行けと言われた。保護者から仕事に行けなくなると、抗議の連絡があった。PCR検査は全員陰性でクラスターも感染者も出ていない学校です

A県における新型コロナウイルス感染症に関する 差別的な扱い等の被害の実態について（事例）

新型コロナウイルス感染症に起因した学校、児童生徒及び教職員に対する差別的な扱いや誹謗中傷等の被害等の実態（一部抜粋）

※対象期間 令和2年6月1日（月）から令和2年8月31日（月）まで

【県立高等学校】

- ・発熱をした生徒に対して、他の生徒が本人に対して「コロナか？」と発言した。
- ・生徒同士のSNS等のメッセージで感染者を特定しようとする動き（犯人探しのようなもの）があった。（保護者から、「子供たちが感染した教員を特定しようとするメッセージを回している」との連絡が学校に入って発覚。PCR検査を受けた生徒もいるので、自分も濃厚接触者となるか心配が背景にあったことが判明。）
- ・保護者より「濃厚接触者が家族に出た場合、出勤を控えるようにと会社から連絡があり強制的に休ませられた。給料が減る。どうしてくれるのか。」とクレームがあった。

【市町村立学校】

- ・父親に陽性反応が出たため濃厚接触者として登校していない児童に対して、別の家庭の保護者が「感染が心配だから、1学期いっぱい休ませろ」と要求してきた。
- ・外国籍の児童生徒に対して、差別的な言葉がけがあった。
- ・児童の保護者が食中毒による発熱のため入院した。その際、「コロナで入院しているらしい」という噂がながれた。
- ・医療関係に従事する保護者の子供が、「一緒に帰りたくない」と言われた。
- ・友達との距離感がうまくつかめず、身体距離が近くなってしまう子が、クラスメートから「コロナ、距離をとれ」と言われた。

※上記事案は、全て当該学校において適切な指導のもと、解決済みである。

新型コロナウイルス感染症に関する差別や偏見をなくす指導の実施について

- ・全日本中学校長会が実施した調査によると、差別や偏見をなくす指導の実施について、「既に実施」した学校が約9割（90.7%）を占めている。「既に実施」した学校と「実施する予定」の学校を合わせると96.5%となり、ほとんどの学校で指導を行っている。
- ・小学校においても、朝の会や学級活動等で児童生徒に感染者への偏見や差別について考えさせる場面を設定したり、通知やメール等を作成して児童生徒や保護者に啓発を図ったりするなどの取組が行われている事例がある。

新型コロナウイルス対応に関する調査（全日本中学校長会）

調査対象数：772校、有効回答数：567校
調査機関：令和2年7月2日（木）～7月10日（金）

